

JForest

森林組合だより

平成30年1月1日

発行

第 117 号

平成30年 新年号



新春のおもむきと
申し上げます

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141 (代)

FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



新年のごあいさつ

代表理事組合長 小松佳和

平成30年を迎えるに当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、新年をお健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から、組合員や関係機関の皆様には、当組合の運営にあたり、格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年9月に林野庁が発表した平成28年度版の「木材需給統計」によると、日本の木材総需要量約7800万㎡のうち、国産材比率（自給率）が34.7%まで上昇し、昭和50年当時の水準まで回復しました。一方、平成28年度の本県の素材生産量は128.9万㎡で、最も落ち込んだ平成14年度に比べ倍増となり、全国一を誇るスギ人工林資源の循環利用に向けた取り組みが、より一層期待される状況にあります。

また、政府において昨年6月に閣議決定された「未来投資戦略2017」では、CLTや耐火木材、木質バイオマスなど多様な木質部材の開発により、新たな木材需要を創出し、確実に林業の成長産業化を推進することが謳われたほか、昨年末には、森林整備の安定的財源である森林環境税（仮称）の実現が、税制改正大綱で発表され、森林・林業関係者の長年の悲願が成就される見通しとなりました。

こうした中で、新たに平成30年がスタートしましたが、昨今の木材産業界では、年間何十万㎡もの原木を消費する総合型の大規模工場が全国各地で稼働しているほか、木材輸出を含めた流通関連分野のグローバル化が進むなど、取り巻く環境も一層複雑化しており、様々な追い風もある中で、厳しい向かい風にも対処していかなければならない状況にあります。

今こそ、森林組合の果たすべき役割とは何かという原点に立ち返り、広く関係者の皆様から信頼される基盤の強い森林組合を築いていくことが大切と考えております。

そのためには、原木等の安定供給に向けた生産体制の構築を図るほか、持続的な森林資源を造成するための着実な森林整備の推進や、次代を担う林業技術者などの人材育成等を重視しながら取り組みを強化してまいりたいと考えております。

今後とも、本荘由利森林組合は、組合員の皆様の山づくりに努めるとともに、郷土の森林を守り・育み、その有効活用を図りながら地域社会の発展に寄与することを使命として、役職員一同、新たな気持ちで日々努力する覚悟でありますので、皆様方より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご多幸とご健勝を心から祈念して、新年のごあいさつといたします。

謹賀新年

	監	監	代	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	副	副	代
			表														組	組	表
			監														合	合	理
	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	長
	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	理
外	村	佐	加	齋	三	藤	浅	小	小	鈴	工	莊	佐	熊	佐	板	伊	佐	初
職	上	藤	藤	藤	浦	原	田	松	番	木	藤	司	藤	谷	藤	垣	藤	藤	瀬
員	佐	憲		惣		正	照	幸		敏	喜	範	勝	典	健	正	修		東
一	左			一		一	信	夫	勲	規	作	彦	崇	夫	一	昭	二	衛	一
同	衛	一	進	郎	功														一
	門																		夫
																			充
																			和

秋田県森林組合大会

11月16日(木)、秋田市の秋田テルサを会場に全県の組合役職員が出席し、盛大に開催されました。小松組合長の開会宣言で開会した大会では、佐藤重芳県森連会長の挨拶に続き、ご来賓のご祝辞と祝電が披露されました。また、優良森林組合、林業功労者等の表彰が行われ、当組合は系統購買事業の部門で表彰されました。

◆役員永年功労者◆

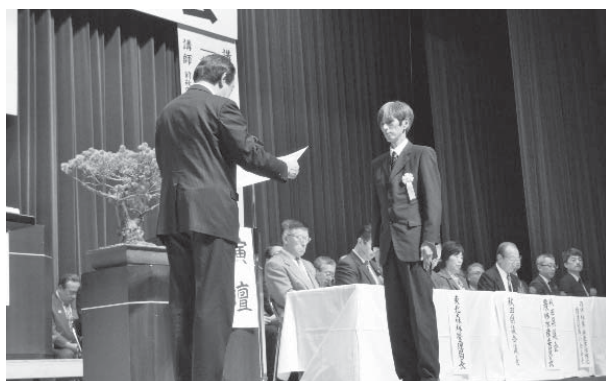
鈴木 充 (15年)
熊谷 典夫 (15年)
村上 佐左衛門 (15年)

◆職員永年勤続者◆

三浦 浩巳 (30年)
板垣 真澄 (20年)
伊藤 貴弘 (20年)

◆優良現場技能者◆

渡邊 正明
井島 美明
高野 良太郎
正木 彰



～地区組合員研修～

毎年各地区ごとに行っている組合員研修。その中の3地区をご紹介します。

鳥海地区

■開催日：7月28日(金) ■参加組合員数：13名
■視察先：秋田プライウッド株式会社・旧国立新屋倉庫
チップー稼働現場

はじめに、秋田プライウッド株式会社の取締役斎藤工場長から合板工場施設の概要説明を受けました。

次に、向浜第一・第二工場内を視察し、1班4人ずつに分かれて、製造責任者の指導案内のもと、搬入材の樹種名からトラック運送段階の稼働工程ごとに懇切丁寧な説明を受けました。



～ 地区 組 合 員 研 修 ～

由利地区

■開催日：11月6日（月） ■参加組合員数：21名

■視察先：協和木材株式会社 新庄工場

工場はラミナ生産の製材から完成品まで一貫しています。原料の丸太は全て2メートルでした。生産ラインは極めてわかりやすく、ものの流れも非常にスムーズであるように感じました。



矢島地区

■開催日：11月21日（火） ■参加組合員数：9名

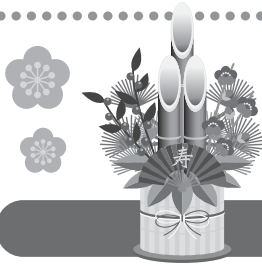
■視察先：当組合チップ土場・

ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社

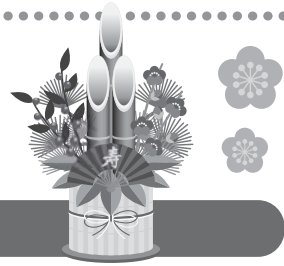
鳥海檜ノ木平チップ土場で、当組合所有の移動式チッパーを視察し、生産されたチップとともにユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社へ移動。

当組合から生産されたチップ材による、木質バイオマス発電の発電行程を視察しました。





情報コーナー



お正月に飾られる樹木について

今回は、お正月などに飾られる代表的な縁起物の樹木についてご紹介いたします。

①「松」、「竹」、「梅」

代表格は、やはり「門松」などに使われる「松竹梅」です。

「松竹梅」が、多く使われる理由は次のとおりです。

「松」→古来から神聖な木とされ、年中、青いため、不老につながるおめでたい木として尊ばれています。

「竹」→まっすぐ、すくすくと伸び、猛々しい姿が生命力や健康の象徴として縁起のよい木とされています。

「梅」→春、寒い中でも、百花に先駆けて早く花が咲くことから、出世、開運を意味するおめでたい木とされています。

※松と竹は、古く平安時代から用いられていたようですが、梅が加わったのは、江戸時代からと言われています。

※一方、一般的に飾られる「しめ飾り」に使われる“葉”は「ウラジロ」というシダ植物です。葉のうらが白っぽいことから、潔白や長寿の象徴とされる縁起物です。

② 葉が緑色の木

冬でも、葉が緑の木は、縁起の良い、おめでたい木として使われます。

「緑色の葉」の代表はユズリハです。ユズリハは、秋に新葉がそろってから、いっせいに古い葉が落ち、冬でも青々とした葉をつけています。旧年から新年への移り変わりも鮮やかでありたいという願いとともに、子が成長して、親が譲る世代交代にたとえて、めでたい木として飾られます。

また、正月には、神様がこの葉に乗ってやって来るという言い伝えもあります。

この他、神事に使われ、神様の木と書く「榊(さかき)」や、1に記載した松や竹も緑の葉の代表です。

③ 赤い実をつける木

秋に赤い実をつけて、冬の間もずっと落とさずにいる樹種は、昔から縁起のよい木として正月などに人気があります。

代表は、センリョウ（千両）とマンリョウ（万両）です。お金の名前のついた縁起物として正月飾りに使われます。

センリョウは、赤い実が葉の上側に、マンリョウは、下側につくので見分けがつかます。

この他、「難を転ずる」縁起木としてのナンテンやヤブコウジも使われます。

※「センリョウ」、「マンリョウ」に対して、「一両」と呼ばれるのがアリドウシ、「十両」がヤブコウジ、「百両」がカラタチバナです。

ヤブコウジは、秋田県の山野にも自生しますが、その他の自生は関東以南となります。しかしながら、センリョウやマンリョウは、お正月などには、本県でも栽培物が多く出回ります。

木材市況情報 (平成29年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

			12月4日		
樹 種	材 長 m	径 級 cm	本荘由利木材流通センター		
			高 値	安 値	平均価格
ス ギ	3.65	14下			
		16～22	(3, 137) 11, 292	(3, 049) 10, 977	(3, 085) 11, 106
		24～34	(3, 545) 12, 761	(3, 334) 12, 003	(3, 464) 12, 470
出材量・販売量・販売率			860㎡(3,096石)・859㎡(3,092石)・99％		
12月：雑木1口が応札なしの外は全量落札。量産工場、山形県勢などの参加により全径級ともやや強含みの取引となった。					

～ 各種届け出のお願い ～

各種手続きとともに、所定の用紙のご記入・提出をお願いしております。用紙は本所・各支所に準備してあり、ご希望の方には郵送します。（記入後は各自の返送、提出をお願いします。）



●賦課金納入

平成29年度分の賦課金について、未納の方は速やかに入金してください。
納入方法、納入先、また納入有無の確認等、ご不明の点がありましたらご連絡ください。

●相続届

相続開始後90日以内に提出ください。郵便物が、亡くなった方の名前で届いてしまうほか、補助申請や、選挙などに障害をきたす場合がございます。速やかに手続きをお願いいたします。

●法人、団体、代表者名の変更

法人、団体、地域等、団体名で加入されている組合員様で、「団体名の変更」又は「代表者名の変更」がございましたら届出をしていただく必要がありますので、お問い合わせください。

●脱退届

組合員の脱退をお考えの方は一度お近くの支所にご相談ください。また、山林が無くなった場合は脱退手続きが必要となります。

今年度（平成30年3月31日）脱退希望の方は、平成30年1月31日まで手続きが必要です。2月以降手続きをされた方は来年の平成31年3月末の脱退となります。

年末年始 **休業** のお知らせ

**12月30日(土)～
1月8日(月)**

1月9日(火)より通常営業致します。



● **仕事始め**
..... 1月9日

● **地区座談会**
..... 2月上旬

● **造林コンクール
及び林業講習会**
..... 2月下旬

今後の行事予定